

会 議 記 録				
会議の名称	環境市民厚生常任委員会			会議場所 第1委員会室
				担当職員 小野
日 時	令和6年2月7日（水曜日）		開 議	午後 5時 17分
			閉 議	午後 5時 31分
出席委員	◎大塚 ○富谷 大西 土岐 梅本 平本 西口（欠席：大石）			
理事者 出席者				
事務局	小野主任			
傍聴者	市民 0名	報道関係者 0名	議員0名	

会 議 の 概 要

1 正副委員長の互選について

[事務局主任説明]

<大塚委員長>

大石委員から会議を欠席する旨の届出があったので承知願う。それでは、先例・申合せを尊重し、委員長を辞任する。

<富谷副委員長>

辞任を許可することに異議はないか。

（異議なし）

<富谷副委員長>

異議なしと認め、辞任を許可する。選挙の方法については、会議規則第126条の規定に基づき、投票又は指名推薦とする。どちらの方法で行うか意見はあるか。

<西口委員>

指名推薦で。

<富谷副委員長>

指名推薦により行うことに異議はないか。

（異議なし）

<富谷副委員長>

異議なしと認め、選挙の方法は指名推薦とする。それでは、私から指名したいと思うが、これに異議はないか。

（異議なし）

<富谷副委員長>

異議なしと認め、大石委員を委員長に指名する。この指名に異議はないか。

（異議なし）

<富谷副委員長>

異議なしと認め、大石委員が委員長に当選された。次に、先例・申合せを尊

重し、副委員長を辞任したいと思うが、辞任を許可することに異議はないか。
(異議なし)

<富谷副委員長>

異議なしと認め、副委員長の辞任が許可された。この後の進行について事務局から説明させる。

<事務局主任>

委員会条例第9条の規定により、委員長及び副委員長がともにいないときは、年長委員を臨時委員長として、副委員長の選出をしていただくこととなる。年長委員の西口委員、委員長席へ。

[西口臨時委員長 委員長席へ移動]

<西口臨時委員長>

副委員長が選出されるまでの間、議事を進めさせていただく。選挙の方法は投票又は指名推選によることになっている。どちらの方法で行うか。

<平本委員>

指名推選で。

<西口臨時委員長>

指名推選により行うことに異議はないか。

(異議なし)

<西口臨時委員長>

異議なしと認め、選挙の方法は指名推選とする。それでは、私から指名したいと思うが、これに異議はないか。

(異議なし)

<西口臨時委員長>

異議なしと認め、梅本委員を副委員長に指名する。この指名に異議はないか。

(異議なし)

<西口臨時委員長>

異議なしと認め、梅本委員が副委員長に当選された。

[梅本副委員長 副委員長席へ移動]

[西口臨時委員長 委員席へ移動]

<梅本副委員長>

(就任あいさつ)

2 審議会委員等の選出について

(1) 国民健康保険南丹病院組合議会議員(2名)

<事務局主任>

国民健康保険南丹病院組合議会議員については、定数が3人で、そのうち1

人が議長であり、当委員会からは2人を選出している。現在は、大塚委員と西口委員にお世話になっている。任期は在職期間中とされているが、どのように取り扱うか協議願いたい。

<梅本副委員長>

どのように取り扱うか。

<平本委員>

最近の傾向として、1人は委員長を選出している。また、1年間では分からないこともあると思うので、もう1人は引き続きどちらかの委員を選出してはどうか。

<梅本副委員長>

1人は委員長、もう1人は前回選出された委員のうち1人を再度選出してはどうかと意見があったが、そのように取り扱うことに異議はないか。

(異議なし)

<梅本副委員長>

前回選出された2人のうち、どちらを選出するか。

<西口委員>

京都中部総合医療センターは、移転など多くの課題があるので、特に意見がなければ、私を引き続き選出していただきたい。

<梅本副委員長>

西口委員を選出することに異議はないか。

(異議なし)

<梅本副委員長>

それでは、大石委員長と西口委員に決定する。

(2) 亀岡市防災会議委員の選出について(委員長)

<梅本副委員長>

事務局から説明を。

<事務局主任>

防災会議委員の選出については、申合せにより委員長のあて職として確認されている。それを踏まえて協議願いたい。

<梅本副委員長>

防災会議委員については、申合せのとおり委員長を選出することとしてよいのか。

—全員了—

散会 17:31